

2020年以降、「レジ袋の有料化」が義務づけられます
『プラスチックごみ』削減のために、マイバッグの普及を！

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界でプラスチック製品の使用を減らそうとする動きが広がっています。

問題視されているのが海の汚染です。海に捨てられるプラスチックは世界で、年間800万トン（500mlペットボトル、3200億本分）と推計されています。こうしたプラスチックごみが日光や潮流によって砕かれ、細かな粒となって海を漂っているのです。

このプラの粒は「マイクロプラスチック」といわれ、魚などによる摂取が確認されています。さらに、プラごみに付着した有害物質などの人体への影響が懸念されています。

海へ流出したプラスチックごみの環境問題が深刻になるなか、環境省では**2020年以降レジ袋の有料化を義務づけ**、レジ袋を減らして汚染防止につなげようとしています。

私たち小売酒販業界の現状は、他の小売業と同様にレジ袋を大量に使用する当事者です。2020年以降の有料化は、各業界とともに酒販店に対しても、削減へ向けた何らかの取り組みを促しているといえます。

スーパーでは当たり前の光景となっている「マイバッグ」の持参は、大変参考になります。酒販店の店先でも、お客様の理解を得ながら、同じようにマイバッグを持参していただくスタイルに変えていくことができるのではないのでしょうか。

石川県小売酒販組合連合会ではマイバッグを試作し、各組合を通じて配付します。そのマイバッグが気に入れば、小売酒販組合へ発注することもできます。

お客様とともに、組員の皆様の積極的な取り組みが期待されています。

